

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 5 日作成)

委員会名	設計システム小委員会	主 査 名：増 田 光 一
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会 (海洋研究推進運営委員会)	委員長名：登 坂 宣 好
設 置 期 間	2000 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>「都市機能補完型海洋建築」のコンセプトにより具現化される海洋建築物は、地球環境、海域環境に与える負荷が最も少ない建築物でなければならない。本小委員会は、このような環境共生型の建築物を設計するための独自の海洋建築物設計システムを提案することを目的として設立された。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：増田光一(日本大学理工学部)，幹事：居駒知樹(日本大学理工学部)， 委員：畔柳昭雄(日本大学理工学部)，西條 修(日本大学理工学部) 小林理市(オリエントインダストリー)，清水五郎(日本大学理工学部) 出村克巳(日本大学工学部)，大澤弘敬(海洋科学技術センター) その他 7 名</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	90,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第 1 回 2003 年 5 月 23 日(金) 16:00 ~ 18:00 参加者 2 名 第 2 回 2003 年 6 月 24 日(火) 16:00 ~ 18:15 参加者 4 名 第 3 回 2003 年 7 月 11 日(金) 16:00 ~ 18:00 参加者 2 名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本年度の活動成果については、研究協議会資料内で本小委員会作成である「設計システムから見た「都市機能補完型海洋建築」の可能性」にまとめられた。以下に、その目次を記す。</p> <p>『設計システムから見た「都市機能補完型海洋建築」の可能性』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．都市リスクからみた海洋建築の可能性 2．海洋建築物設計に関する要素技術の現状 3．「都市機能補完型海洋建築」の計画・設計への提言
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係) 都市リスク低減に海洋建築がどこまで有効であるかを設計技術の立場から検討した。要素技術の整理や解決すべき技術的問題の抽出が実施された。当初目標はおおよそ満足されたと考える。</p>
その他評価すべき事項	<p>海洋建築物・海洋構造物の設計・計画にライフサイクル・アセスメントの概念を導入すべく、現状調査を実施し、この概念の導入にあたっての課題等が整理された。</p>